

2. 調査

調査を中心とした研究のうち、調査方法や調査機関については、以下のとおりである。

- (1) 個別の教育支援計画等の文献を収集した。
- (2) 自閉症を併せ有する幼児児童生徒の地域生活支援に必要な、特性に応じた支援をまとめた。
- (3) 各地の実践を調査した上で、優れた実践を行っている地域を絞り、各地域の代表者に、現状と課題について寄稿して頂いた（北海道、長野県、岡山県）。
- (4) アメリカ ノースカロライナ州 自閉症協会 A S N C のメンター、I E P 学習会の紹介

3. 実践

実践を中心とした研究のうち、実践方法や機関、実践事例の収集先は以下のとおりである。

- (1) 「本人と保護者のための個別の支援計画」 ～保護者とのワークショップをととして

①ワークショップ参加者及び開催数

参加総数：52名（途中の参加，辞退者含む）

開催数：18回（小グループによる開催含む）

②ワークショップの内容

ア. 本会の進め方（概要）

第一期 仲間作り，第二期 ワークショップ，第三期 「本人と保護者のための個別の支援計画」の作成

イ. 「本人と保護者のための個別の指導計画＜START＞」

- ・めざせ！社会，精一杯にH I K A R I 輝く人生を送ろう！ここが「START」だ！
- ・プロフィール
- ・将来，近い将来，今（現在）
- ・わたしを支援してくれる人
- ・支援施設・機関一覧

(2) 実践事例

会の参加者のうち，すでに活用をはじめた先行事例を紹介する。